

新・館長よりご挨拶

大阪市立科学館長 吉岡 克己

2024年4月1日付で大阪市立科学館の館長を拝命いたしました吉岡克己(よしおか かつき)です。

当館は現在、大規模な展示場の改修のため休館しており、みなさまには大変ご不便、ご迷惑をおかけしております。あらためて、心よりお詫び申し上げます。

さて、大阪市立科学館は1989年の開館から2千万人以上のお客様をお迎えし、お陰様で今年10月には35周年を迎えます。その節目の年に、また大阪・関西万博開幕の前年にリニューアルした展示場をお披露目できることを大変うれしく思っています。

今回のリニューアルでは、これまでどおり「本物」「実物」「生の現象」を大事にしつつ、大阪ならではの科学への寄与の展示や、お客様とのコミュニケーションの舞台を充実させます。また、他の博物館や大学など多様な団体との連携も積極的に進めます。これは、当館が使命に掲げる「科学を楽しむ文化の振興」には、「本物の体験」と「人との出会い」が大切だと考えるからです。

私が30年あまり前に科学館の世界に飛び込んだのは、自分が感じている科学の魅力をたくさんの方と共有したいという思いからでした。私自身、これまでプラネタリウムや展示場を舞台に活動する中で、様々な体験と多くの人との出会いによって益々「科学を楽しむ」ことができました。これから館長として、お迎えしたお客様がそれぞれに科学を楽しみ、科学好きが育っていく場所に大阪市立科学館がなるよう全力を尽くしたいと思います。

私たちは今、「変化(change)」への「挑戦(challenge)」を胸に、大人から子どもまで、それぞれの感性で一層楽しめる科学館への進化に向けて知恵を絞っています。みなさまと共に科学を語り合える新しい科学館のオープンは夏を予定しています。新しい展示場がみなさまの笑顔と歓声に溢れる日々を職員一同楽しみに頑張っていますので、リニューアルオープンには是非ご期待ください。

